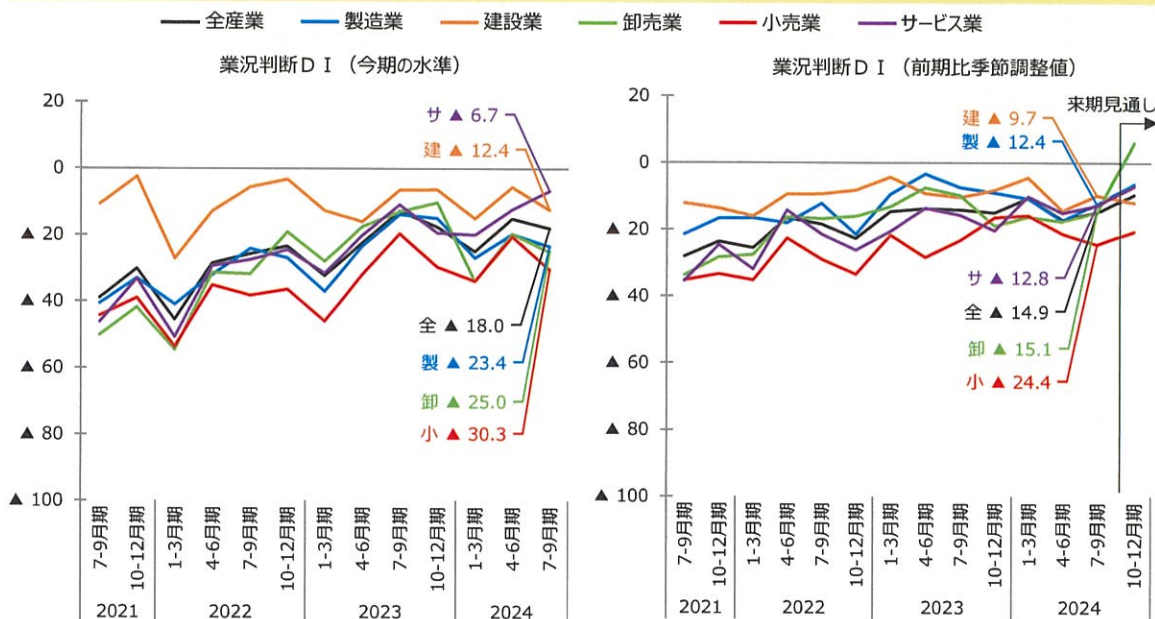


# 第177回 中小企業景況調査（2024年7-9月期） 北海道



## 1. 業況感

北海道地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2024年4-6月期）より2.9ポイント減の▲18.0と2期ぶりに低下した。産業別にみると、サービス業で上昇し、小売業、建設業、卸売業、製造業で低下した。

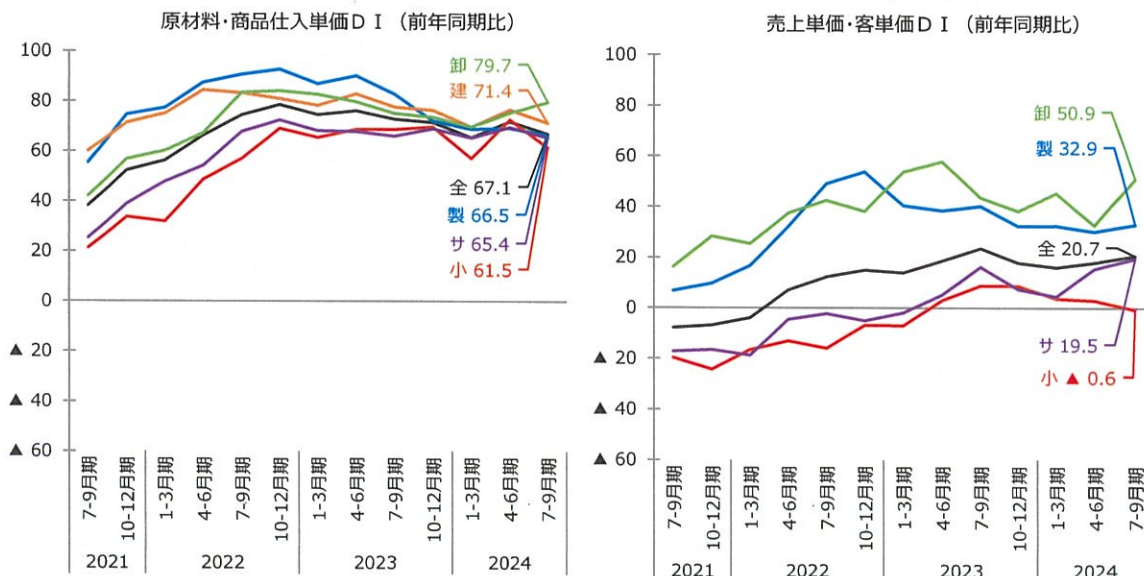


※今期の業況について「良い」「ふつう」「悪い」で質問

※前期（2024年4-6月期）と比べて「好転」「不变」「悪化」で質問

## 2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より4.9ポイント減の67.1と2期ぶりに低下した。産業別にみると、卸売業で上昇し、小売業、建設業、サービス業、製造業で低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より2.7ポイント増の20.7と2期連続して上昇した。産業別にみると、卸売業、サービス業、製造業で上昇し、小売業で低下した。



※前年同期（2023年7-9月期）と比べて「上昇」「不变」「低下」で質問

※前年同期（2023年7-9月期）と比べて「上昇」「不变」「低下」で質問

＜調査概要＞ 調査時点は2024年9月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,793 有効回答企業数：17,679 有効回答率：94.1% うち、北海道：732企業

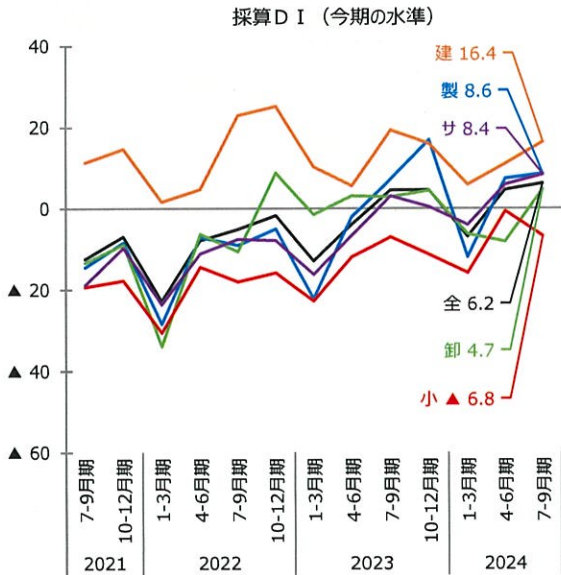
※本資料の集計対象の都道府県は、北海道です。

# 第177回 中小企業景況調査（2024年7-9月期） 北海道



## 3. 採算

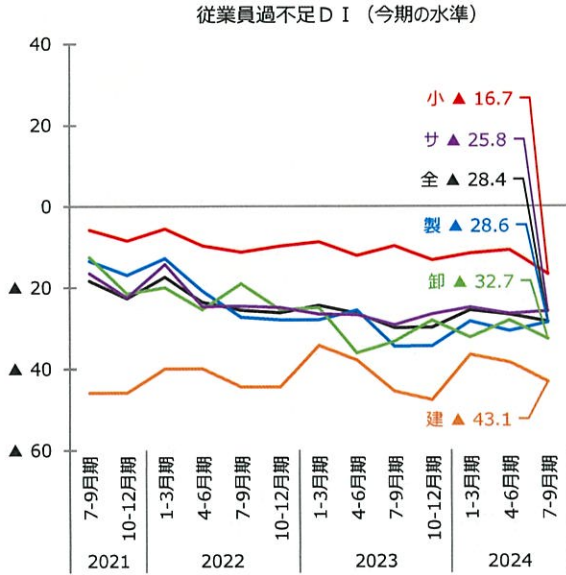
採算DIは、全産業で前期より1.6ポイント増の6.2と2期連続して上昇した。産業別にみると、卸売業、建設業、サービス業、製造業で上昇し、小売業で低下した。



※今期の採算について「黒字」「収支トントン」「赤字」で質問

## 4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より1.8ポイント減の▲28.4と2期連続して低下した。産業別にみると、製造業、サービス業で上昇し、小売業、建設業、卸売業で低下した。



※今期の従業員について「過剰」「適正」「不足」で質問

## 5. 北海道の中小企業の声

|  | 業況判断の背景   | 業種                     |
|--|---|------------------------|
| 現<br>状   | 円安の影響により、仕入れ価格が昨年より2割値上がりし、価格に転嫁したいところだが、コロナ後の値上がりにより毎年のように価格が上がっているため、転嫁しにくい状況。                    | 製造業 石工品製造業             |
|  | 今期は去年の猛暑により、空調関係の仕事の発注が多く出たが、道内各地で発注されるため、材料不足に加えて下請け業者の確保が非常に困難な状態となっている。2024年問題と重なって、大きな影響を与えている。 | 建設業 一般管工事業             |
|  | 販売形態が訪問販売をメインにしているためコロナ禍以降売上低下。健康食品を扱っているが、小林製薬の問題から売上低下。   | 卸売業 化粧品卸売業             |
|  | 店舗の客層は高齢者が多く、物価上昇が続く服飾品の購入を辛抱していると思われ、地元顧客の売上は減少している。一方で海外からの観光客が増えて日本製品を求める外国のお客様が多少増加し、減少分を補った。   | 小売業 かばん・袋物小売業          |
| 見<br>通<br>し  | ICT化により、既存の流通が変化し、クラウドが主流となっている為、利益率、人材の過剰化が進む可能性が出てくると考えられるため、社内のシステム自体を見直す時期が来ていると感じる。            | サービス業 パッケージソフトウェア業     |
|  | 仕入単価の上昇の影響はあるが、売上が好調なため、全体的な業況は良い。来月以降でOA機器の入替を検討している。  | 製造業 水産缶詰・瓶詰製造業         |
|  | 住宅の新築物件の減少により、リフォーム工事及びテナント工事が増加している。資材高騰により新築住宅物件が、全体的に減少しており、来年は更に減少するのかなど不安要素が多い。                | 建設業 左官工事業              |
|  | 商品仕入単価の大幅なアップにより今後の売上に影響が出る不安がある。   | 卸売業 織物卸売業 (室内装飾織維品を除く) |
|  | 日銀が7月31日に利上げを決め、米国が9月に利下げを示唆し円高ドル安が進行。価格転嫁を着実に進め売り上げや利益を伸ばしたいが、国民生活に悪影響を及ぼす可能性もある。出費を控える家計が不安材料である。 | 小売業 他に分類されないその他の小売業    |
| 悪いながらも安定している。これから少しずつ上向きになりそう。お客様も悪い景気に少しずつ慣れ始めているように思う。これ以上悪い景気にならないければお客様の回転も少しずつ戻ってくると思う。 | サービス業 理容業   |                        |

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)

項目を選択する方式ではなく、業況判断の背景についての感想や意見を自由に記入する方式であることから、各企業が抱える課題が表れている。